



深町の皆様へ

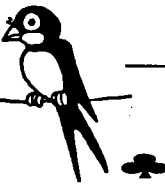
如來寺高橋 向井 景昭

皆様には、日頃から学校の諸活動にご理解とご支援をいただき感謝しております。
この度は、野球部が三年連続甲子園出場を果たしてくれましたが、それに際しましては、物心両面にわたるご支援をいただき有難うございました。
県大会で優勝を決めて学校に帰りました時、学園橋の上で、皆さんからのお祝いの横断幕を掲げていただいたのを見た時は、選手をはじめ教職員も、皆様の温かいお心に感激いたしました。学校でお迎え下さったり、甲子園で声援下さったり、TV観戦で応援して下さいたりした事が、選手・監督・部長にとっては、一番の心強い励みになりました。



指導者

今後とも暖かいご支援を賜りますようお願いし、感謝の言葉とさせていただきます。有難うございました。



蝉

河野 強

私の生家の庭に、一抱え半もある大きな柿の木が一本ある。暦のうえでは立夏に入り、日ざしが強くなる五月になると、山では春蝉が啼きだすが、わが家の柿の木で、蝉しぐれが聞けるのは、真夏の土用頃になる。毎日蝉の声を聞いていれば、さほどうるさいとは気がつかないが、その頃たまに我が家を訪れた人は、「蝉って案外うるさいね」と顔をしかめられる。
松尾芭蕉が、アブラ蝉の啼く声に「しずかさや岩にしみ込む蝉の声」と句を残しているの、確かにうるさいに違いない。子どもころから聴き馴れていて一向に気にならず、今年も蝉の啼く季節になったか、とむしろ啼かないと淋しい気さえするの、不思議だ。梅雨明けとともに小蝉のチャーンと啼く可愛い声を聴くと、今年も、夏がやって来たかとうれしくなったものがある。



一日と暑さが増す大暑頃には、アブラ蝉がかん高く啼きだす。次いでクマ蝉が周囲の音をかき消すように、シャッシャッシャッシャとまるで、大きく木をゆするように、忙しくうるさく啼く。ミンミン蝉、ツクツクボウシと季節の移り代わりに合わせてたように、順番に出てくるよるだ。
夏たけなわとなり、夕方近くになると日暮れを告げるように、山でヒグラシ蝉がカナカナカナカナと一斉に啼きだす。立秋を

勝つきます

深町消防団県大会へ

九月十日、ポンプ操作県一を競う大会に、三原市を代表して深町消防団が出場することになりました。
出場決定以来、週三回、動めから帰って二時間の訓練を二ヶ月程行なってきました。
八月二十八日、土曜日には小学校校庭で町民の皆さんに訓練の成果をみていただきました。
この小さな町で、三原市の小学校、中学校を代表して全国大会に出場する生徒もいます。日本を代表して五輪に二回出場した人もいます。今回も練習の成果を期待したいものです。

町民運動会に参加を

九月二十六日、小学校運動会日の午後一時から二時間の予定で町民運動会を予定しています。
競技種目は概ね昨年と同じですが、出来るだけたくさんの方に参加していただくために、「町全」を増やしました。今までは来年少稚園に入る子どもさんを対象にした「かけっこ」は、今年「未入園児」と幅を広げました。
みんなで楽しい一日を過ごしましょう。

ミニサンライズ大池

★ケアハウスとは
明るく開放的な高齢者専用住宅です。(三原市初の施設)

★ご利用について

- ・六〇歳以上の方(但し、夫婦の場合いづれか六〇歳以上であれば利用できます)
- ・身体機能の低下、高齢等で独立での生活に不安のある方等
- ・日常生活に介助を要さず、痴呆等による問題行動の無い方
- ・必要な費用負担ができる方

★利用料について

- ・入居一時金として百万円(共済組合は百万円が必要)
 - ・(一時金は一定の基準により返還されます)
 - ・利用料は、食事代も含めて月額八万円(十万円程度)の他、光熱費、電話代等は個人負担
- 以上は、泰清会の案内資料を元に当編集室でまとめたものです。詳しいことは、☎六七一四七六七に問い合わせ下さい。

今も夏になると、多くの蝉が寄ってきて、さかんに啼いているのを聴くと、無性に子どもころが、懐かしく脳裏をかすめる。▲▲

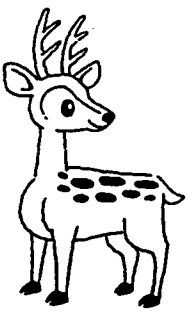


誰んでお悔み申し上げます

★成末 豊様 二八日 九四歳

九月町内各種団体行事予定

- ◆小学校(幼)
- ▼始業式(幼・小) 一日
- ▼水泳記録会 一日
- ▼集金日・弁当始め(幼) 一日
- ▼集金日 一日
- ▼身体測定(低) 一日
- ▼貯金日・身体測定(高) 一日
- ▼身体測定(幼) 一日
- ▼お祭り・お祝い(高) 一日
- ▼運動会 二日
- ▼誕生会 二日
- ◆消防団
- ▼機械器具点検 一日
- ▼ポンプ操法大会(広帯) 一日
- ◆町内会
- ▼町民運動会 二日
- ◆尚寿会
- ▼ゲートボール(丁A) 一日
- ◆女性会
- ▼親睦会 上九日 中四日 下二日



展望

十五日、深町を挙げての盆行事、午前八時、お世話をしていただき町内会役員と、各種団体長が集まり、樽を組んだり、照明の取り付けを行ないました。十時からは、壮青会による太鼓踊りを町内各所で午後六時から、千川神社に奉納。続いて昨盆以降亡くなられた方の慰霊祭(町民会館)に続き、続いて、女性会主導で伝統の盆踊り。今ほどきのできる人がないので、以前吹き込まれたテープが今年も使われました。▼これが終わったところでお待ちかねのカラオケ。子どもから高齢者に至る善男善女のみなさんが、マイクを巧みに操り、美声と豊かな表情で「場」を盛り上げてくださいました。時間の関係でカラオケは十六番まで。出演者全員に豪華な記念品が送られました。▼最後はお待ちかねメインイベント「籤引き抽選会」。事前に全世帯に配布した抽選券は三百枚。当日券を持参された方は百十人で、特賞テレビに挑戦していたいただきましたが、最後に笑わられたのは、下組の石井さんでした。▼町を挙げての住民交流の場は限られます。新しく深町の住民となられた方もいろいろな行事には是非参加して下さい。小学校にも大変迷惑をおかけしました。校長、教頭先生は最後まで 深謝。

深の歴史余話(十六)

高崎 壽郎



内としてその名が残っている。それは、中垣内・向垣内・平垣内・角垣内・岡垣内・原垣内・山垣内である。

▼稚子峠の赤子石(上組)

何百年も昔のこと。ある年、この地方はじまて以来というような大飢饉にみまわれた。それは、日照り続きに加えて、イナゴ・ウンカが大発生したため、被害は大きく、五穀は枯死し、食べ物もなく餓死者も出んばかりになった。そして、飢えに苦しんだ農民の犠牲の第一にあげられたのが嬰兒であった。泣く泣く捨てて子をしたのである。場所は、稚子峠の頂上から東へ百米位下がった林の中。今も供養のための大きな石が残っているが、それには子ども足跡のようなものが多く見える。のちに、人々はこの石を「稚子峠の赤子石」と呼ぶようになった。

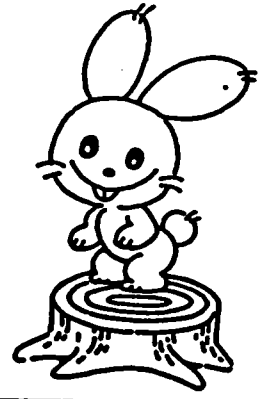
▼七垣内(中組)

今からおよそ千二百年も昔、奈良に都のあった頃。大三島の伊予の国(愛媛県)大平の住人が、理想の土地をさがして、広く諸国をめぐり歩いてきた。そして、ついに私たちの深の地に足を止め、終世子孫のすええまで、繁栄の土を拓き、それより開拓に励み、かすかすの困難にうち勝ち、その努力の効あって、人がまだ足を入れたこともない原野も、今のように美田となり、豊かな郷土ができたのである。初めは、鳥獣が作物を食い荒らすので、折角の苦労も水の泡になることもしばしばであった。困った人々は、いろいろ工夫し、地域毎に鳥や獣が入らぬように垣を作り、そこを住居として、近くをだんだん開いていったという。当時を偲ぶものが、今も七垣

▼菰ヶ岩(下組)

ずっとずいっと昔の話。ある夜、深の住人の頼貞の大平さんの夢枕に、高貴な翁がたつてこう言われた。「この村の開拓者は私の子孫である。だから、将来永久にこれを見守り、その繁栄と幸福を祈っている。もし、私がこの地に留ることを疑う者は、九文久の岩上に行ってみよ。」大平さんは大層驚き、夜明けを待ってその地へ急ぎ調べたところ、大きな岩の上に菰もが敷かれ、その上に御幣が一基あるのを発見した。これは不思議なことと、大平さんはうやうやしく御幣を捧持して自宅に帰り、早速社を建てこれを安置した。この社はのちに、深の守り神「所主権現」として、村民の崇拜するところとなり、毎年旧暦

深の伝説



七月十六日には、如何なる凶作の歳も、必ず、太鼓踊りを奉納していた。尚、菰ヶ岩は県道拡張のため移動し、現在は下組菰ヶ岩の入り口の山腹にある。

修学旅行記(3)

修学旅行

井手上 達也

今日の朝はとても寒かった。でも、心はウキウキしていた。なぜなら、楽しみにしていた修学旅行の日が来たからである。三原駅に集合した。みんな早く行きたいとウキウキしていた。みんな集まって、新幹線に乗りました。大阪に着いて、すぐに海遊館に向かいました。ぼくは修学旅行の中で、海遊館が一番心に残りました。海遊館に着いて、お弁当を食べました。まわりが海で、けしきがいいので、とてもおいしく感じました。海遊館の中を見学していきました。中には、見たこともない動物がたくさんいて、とてもこふふんしました。八階から下りてくる内に、だんだんすごい動物がでてきました。一番す

ごかったのはジンベエザメです。一口に食べてしまうと人間はくたせられます。とてもすごかったです。このことから分かったことは、動物が生きていくには、食糧ときれいな自然が必要だということです。他にもいろいろの見学に行きました。金閣寺は金がかかってすごかったです。清水寺の清水のぶ台にくぎ一本も使っていないなんて信じられなかった。東大寺の大仏がこんなに大きいなんてびっくりしました。でも、海遊館が一番すごかったです。とてもおいしい勉強になりましたし、楽しかったです。また、みんなと旅行にいきたいです。▲▲▲

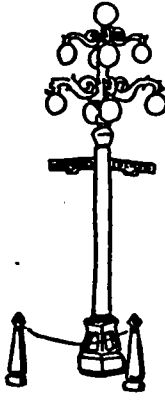
たのしかった旅

西永 真紀

今日の空は、晴れていて気持ちがいい。今日は修学旅行です。新幹線で新大阪に行きました。そして、バスに乗って海遊館に行きました。海遊館の前で、みんな写真をとって、お弁当を食べました。食べながら、ちやうどサンタマリア号が港に帰ってきました。すごく大きいです。ごいなあと思いましたが、その後グループごとに分かれて海遊館の中をまわりました。ジンベエザメがすごく大きかったです。おび

修学旅行の思い出

満田 麻美



この前の修学旅行で楽しいことがいっぱいありました。しっかりと勉強もして帰りました。この修学旅行で一番心に残ったのは金閣寺です。金閣寺は、金ばくがはってあって、すごくキレイなお寺でした。ただ、目の前に金閣寺の金ばくがあるの、さわれないのが、ものすごく残念でした。楽しかった出来事は、海遊館でお昼ごはんを、みんなと外で食べていた時のことです。運

春 夏 秋 冬

梶谷 マサヨ

県大会 数ある中を 乗り越えて 甲子園へと 道を開けり
如水館 三年連続の 甲子園 君の青春に 誇り持たし



「修学旅行」

藤本法子

修学旅行でわたしは、海遊館と東大寺の大仏と映画村がおもしろかったです。海遊館では、ジンベエザメがすごくでっかいな！と思いましたが、それと、ペンギンやイルカの泳いでいるところがすごくかわいかったです。すばやい泳ぎでびっくりしました。あとカタクティワシか口をあけて、大群で泳いでいるところがすごかったです。あんなにたくさん魚をどうやって集めたのかな！と思いました。東大寺では、大仏がすごくて、かかってびっくりしました。でも大仏のまわりをまわって、うしろから見た方がずっと大きく見えました。不思議でした。あきさの柱を通ったのもおもしろかったです。映画村では、屋根から屋根の間のひもみたいなのを忍者がわたっているのがおもしろかったです。それから、三つの顔を持つきょうりゅうみたいなものもおもしろかったです。パティオスもおもしろかったです。特にパティオスの中のスベリ台がおもしろかったです。おみやげもたくさん買って帰りました。

よく、目の前を船の「サンタマリア号」が通りました。ものすごくうれしかったです。二つ目は奈良の大仏館で、自分の家にハガキを出しに行ってきたことです。こんなことは初めてだったのです。楽しかったです。三つ目は、東大寺です。東大寺には、しかがいっぱいいます。先生にしかせんべいを買ってもらって、みんなで二つずつ分けました。しかせんべいをしかの頭の上でふると、しかはおじぎをしてくれます。それがものすごく楽しかったです。それが小学校最後の楽しかったです。それから、思いっきり楽しんで、思いっきり勉強もしたので、すくよくよ